

東北地方 1か月予報

(9月25日から10月24日までの天候見通し)

平成16年9月24日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

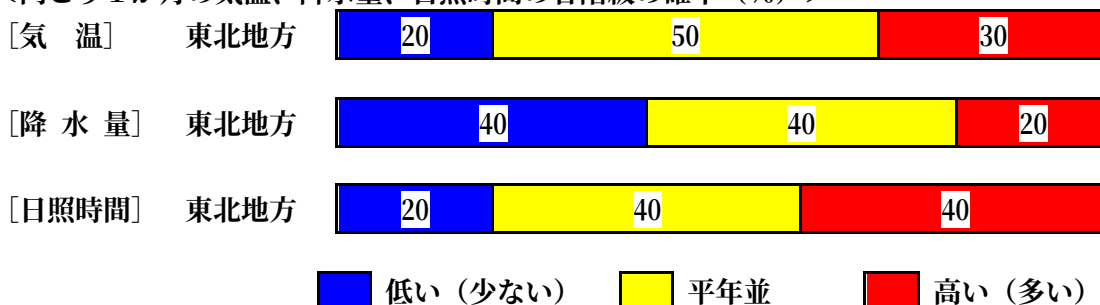
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。

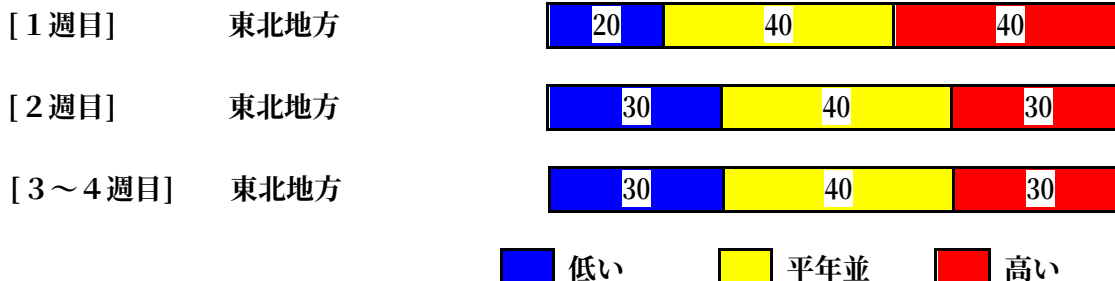
向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並か少ない、日照時間は平年並か多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並か高い、2週目、3～4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月25日(土)～10月24日(日)

1週目 : 9月25日(土)～10月1日(金)

2週目 : 10月2日(土)～10月8日(金)

3～4週目 : 10月9日(土)～10月22日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は10月1日

3か月予報: 10月25日(月) 14時00分

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(℃)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
大船渡	14.9	154.3	138.8	17.1	15.8	13.8
新庄	13.7	137.5	104.9	16.4	14.7	12.4
若松	14.6	81.5	115.7	17.2	15.7	13.3
深浦	14.6	158.9	140.0	16.9	15.4	13.4
青森	13.9	96.1	154.3	16.4	14.8	12.6
むつ	13.5	119.7	158.1	15.9	14.3	12.3
八戸	14.0	80.2	157.0	16.4	14.9	12.8
秋田	14.9	147.1	149.2	17.4	15.8	13.6
盛岡	13.1	95.3	144.1	15.7	14.1	11.8
宮古	14.3	130.7	146.7	16.5	15.1	13.2
酒田	15.9	160.1	143.0	18.2	16.7	14.7
山形	14.6	79.8	126.4	17.1	15.5	13.3
仙台	16.0	124.4	140.5	18.2	16.9	14.9
石巻	15.4	115.3	149.3	17.7	16.3	14.3
福島	16.0	111.9	129.6	18.4	16.9	14.8
白河	14.4	129.2	130.4	16.7	15.3	13.2
小名浜	17.2	171.1	141.6	19.2	18.0	16.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.2	77～ 108	95～ 105
東北日本海側	-0.5～+0.2	81～ 114	94～ 105
東北太平洋側	-0.5～+0.2	71～ 112	95～ 106

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.4	-0.6～+0.6	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.6～+0.4	-0.5～+0.6	-0.6～+0.4
東北太平洋側	-0.5～+0.4	-0.5～+0.6	-0.5～+0.5

＜参考資料（利用上の注意）＞

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33%）から大きく隔たった確率（10%や 60%、70%など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成 16 年 9 月 24 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（9 月 25 日～10 月 24 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目（9 月 25 日～10 月 1 日）：

前線や気圧の谷の影響で曇る日が多いですが、東北北部では晴れる日がある見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2 週目（10 月 2 日～10 月 8 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目（10 月 9 日～10 月 22 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

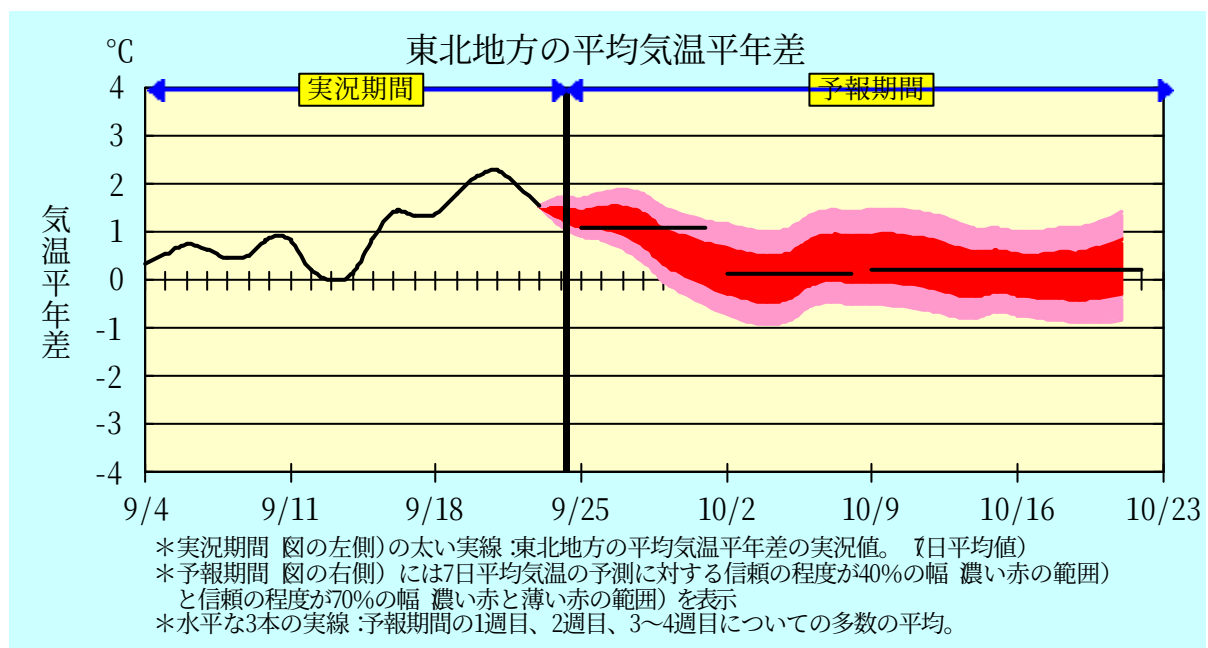
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	13.5 日	3.2 日	3.5 日	6.8 日
東北太平洋側	15.0 日	3.4 日	3.6 日	8.0 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目を「高い」、2 週目、3～4 週目を「平年並」と予想している。予報は、その他の資料から 1 週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

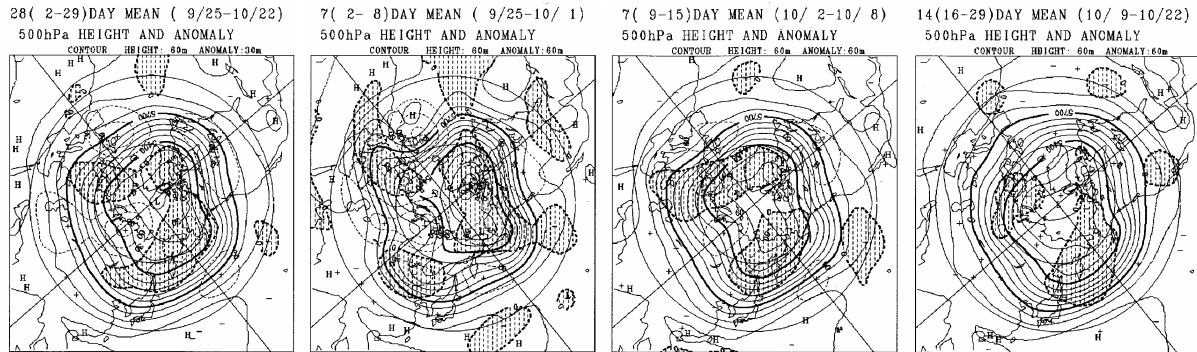


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は東西に広く正偏差に覆われるが、オホーツク海等の高緯度には負偏差が広がる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変わる。

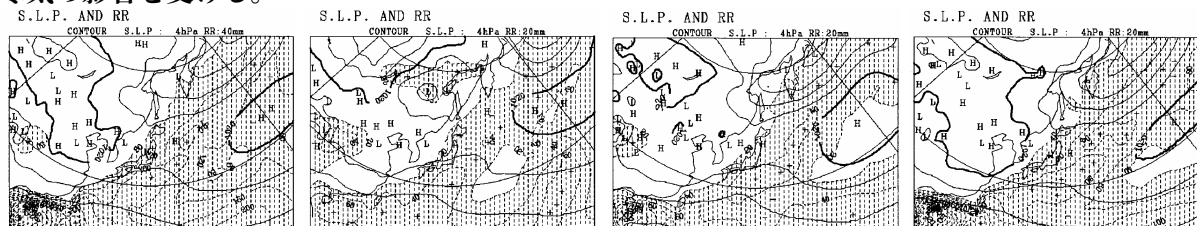
1 週目は、中国東北区からバイカル湖付近が負偏差となるが、日本付近は正偏差。2 週目は、オホーツク海付近が気圧の谷となり負偏差。日本付近は正偏差に覆われる。3～4 週目はカムチャツカ半島付近の気圧の谷に伴う負偏差が北海道付近にかかるが、本州以南は正偏差。ただし、2 週目以降、気圧の谷の深まりにはバラツキが大きく、日本に強い寒気が南下する可能性もある。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は東西にのびる帯状の高気圧に覆われ、天気は数日の周期で変わる。日本付近には南東海上を中心とする弱い降水域がかかる。

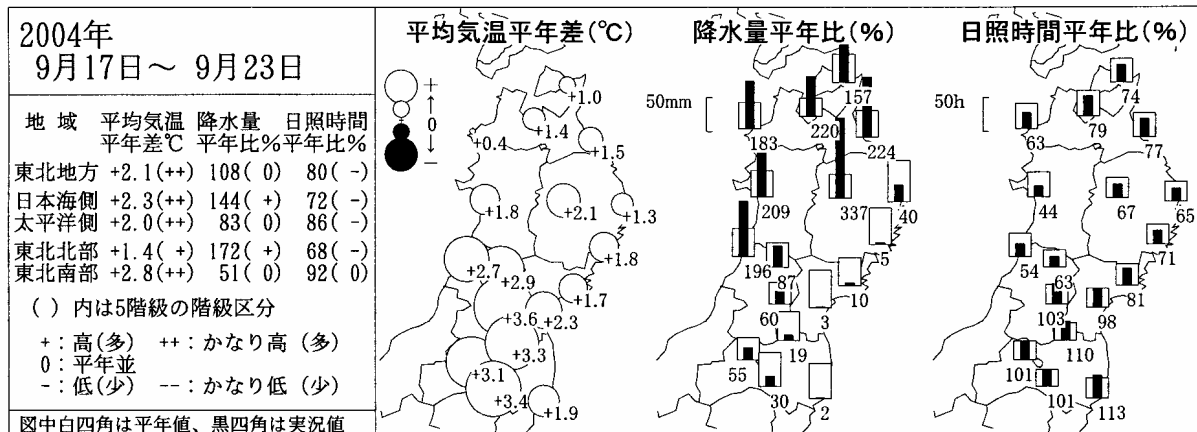
各週とも、日本付近は月平均と同様。ただし、1 週目は中国東北区に低圧部があって日本付近に暖気が流れ込みやすいが、2 週目以降はカムチャツカ半島付近が低圧部となり北日本では一時寒気の影響を受ける。



4. 最近1週間（9月17日～9月23日）の天候の経過

高気圧に覆われ晴れる日もあったが、低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。なお、18日や21日は暖かい空気が流れ込み、東北南部で真夏日となる所があった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で少なく、東北南部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）